

公立支援学校

調査回答学校数:36校

1 平成21年度の学校図書館の利用状況等について

1-(1)

貸出冊数について

把握している	44%
把握していない	39%
無回答	0%
無効回答	17%

1-(2)

課業期間の開館日等

①開館日(複数回答可)

平日毎日	47%
平日(毎日以外)	39%
土曜日	0%
日曜日	0%
無回答	14%
無効回答	0%

①の設問で平日(毎日以外)と回答した学校が開館している日数

1日	9校
2日	2校
3日	0校
4日	1校
その他	2校

②開館時間(複数回答可)

全日	19%
始業前	3%
昼休み	58%
休み時間	8%
放課後	8%
その他	11%
無回答	14%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

- ・教員が付添えば利用可
- ・担任の先生と一緒に
空き時間利用
- ・授業等で利用している時

③開館日の利用人数(複数回答可)

0~19人	67%
20~39人	17%
40~59人	3%
60~79人	0%
80~99人	0%
100人以上	0%
無回答	14%
無効回答	0%

1-(3)

長期休業期間の開館日等

①開館日(複数回答可)

平日毎日	14%
平日(毎日以外)	6%
土曜日	0%
日曜日	0%
その他	31%
無回答	50%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

- ・夏期行事
- ・学校登校日

①の設問で平日(毎日以外)と回答した学校が開館している日数

1日	0校
2日	1校
3日	0校
4日	0校
その他	1校

②開館時間(複数回答可)

全日	14%
午前	14%
午後	0%
その他	11%
無回答	50%
無効回答	11%

★

★ その他(抜粋)

- ・開館の希望があった時

③開館日の利用人数(複数回答可)

0~19人	36%
20~39人	0%
40~59人	0%
60~79人	0%
80~99人	0%
100人以上	0%
無回答	50%
無効回答	14%

公立支援学校

1-(4)

貸出方法

コンピュータ処理	0%
図書カード利用	50%
コンピュータ処理と図書カード利用を併用	0%
★その他	36%
無回答	0%
無効回答	14%

★ その他(抜粋)

・貸出ノート

1-(5)

学校図書館の

コンピュータについて
(国立・市立高校のみ)

ある	25%
ない	67%
無回答	8%
無効回答	0%

コンピュータの保有台数

1台	67%
2台	33%
3台	0%
4台	0%
5~10台	0%
11台以上	0%
その他	0%

コンピュータの使用方法
(複数回答可)

本の検索(自校)	7%
本の予約(自校)	0%
本の貸出・返却(自校)	0%
本の検索(他の図書館等)	0%
ホームページ等の閲覧	14%
CD-ROM等の閲覧	4%
メールの受発信	4%
★その他	50%
無回答	14%
無効回答	11%

★ その他(抜粋)

・図書館だよりの作成
・点訳本のダウンロード

1-(6)

選書の方法について

①過去3年間の購入冊数

H19年度	3338
H19年度平均	92.7
H20年度	3020
H20年度平均	83.9
H21年度	3363
H21年度平均	93.4

②図書選定の際

参考とするもの(3つまで回答可)

児童生徒のリクエスト	50%
教職員のリクエスト	86%
書評誌	3%
新聞書評・広告	14%
出版社・取次店の目録	19%
インターネット上の情報	8%
公立図書館の選定リスト	8%
★その他	6%
無回答	0%
無効回答	14%

★ その他(抜粋)

・研究会での紹介
・書店での情報

③選定方法

担当教職員	64%
選定委員会等(教職員のみ)	11%
選定委員会等(教職員と児童生徒)	0%
選定委員会等(児童生徒のみ)	0%
★その他	14%
無回答	0%
無効回答	11%

★ その他(抜粋)

・各部司書教諭、校務分掌
による図書担当が選定

公立支援学校

1-7) 学校図書館の利用状況について
3年前との比較

進んでいる	31%
進んでいない	14%
変わらない	39%
無回答	0%
無効回答	17%

進んでいる点(複数回答可)

貸出冊数	55%
利用人数	91%
授業での利用	45%
その他	9%
無回答	0%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

・3年前は開館して
いなかった

③学校図書館が活性化と思われる
改善方針について(2つまで回答可)

選書の改善	58%
施設の魅力の向上	50%
啓発の推進	22%
読書計画の立案及び実施	0%
公立図書館との連携	3%
ボランティアとの連携	8%
その他	6%
無回答	0%
無効回答	19%

★

★ その他(抜粋)

・専任司書の配置

2 学校図書館を担当する教職員について(府立学校)

2-1) 担当する教職員の人数

1人	21%
2人	4%
3人	25%
4人	8%
5人以上	29%
無効回答	13%

2-2)

学校図書館に担当する教職員が
いる1日あたりの時間数

2時間未満	43%
2時間以上4時間未満	21%
4時間以上6時間未満	7%
6時間以上7時間未満	0%
7時間以上8時間以下	7%
無効回答	21%

2-3) 教職員の仕事内容
(複数回答可)

環境整備	13%
貸出・返却	75%
受入及び配備	42%
購入する本の選択	63%
本の展示	63%
レファレンスサービス	25%
読み聞かせ	8%
ブックトーク	0%
図書館便りの発行	4%
図書委員会の指導	21%
図書館等との連絡・調整	25%
その他	0%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

・本の整理

2 学校図書館の担当職員について

(国立・市立高校)

2-1) 教諭以外の担当職員について

いる	17%
いない	75%
無回答	8%
無効回答	0%

2-2)

どのような職員か

学校図書館司書	0%
図書整理員(有償)	0%
その他	100%
無効回答	0%

★

★ その他(抜粋)

・講師
・実習助手

2-3)

職員の勤務日数等
日数

1日	1校
2日	0校
3日	0校
4日	1校
5日	0校
無効回答	0校

1日の時間数

2時間未満	1校
2時間以上4時間未満	0校
4時間以上6時間未満	0校
6時間以上7時間未満	0校
7時間以上8時間以下	1校
無効回答	0校

公立支援学校

2-(4)

環境整備	0%
貸出・返却	100%
受入及び配備	100%
購入する本の選択	50%
本の展示	100%
レファレンスサービス	50%
読み聞かせ	50%
ブックトーク	0%
レファレンスサービス	0%
図書委員会の指導	100%
図書館等との連絡・調整	50%
★ その他	50%
無効回答	0%

★ その他(抜粋)

・ボランティアとの連絡・調整

3 公立図書館との連携について

3-(1) 連携内容について(複数回答可)

団体貸出	6%
図書配送システム	0%
移動図書館	6%
担当者連絡会	0%
連携学習会	0%
司書の派遣	8%
図書館見学	3%
その他	0%
全く行っていない	75%
無回答	0%
無効回答	3%

●公立図書館との連携内容ごとの年間実施回数

団体貸出

1回	1校
2回	0校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	1校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

移動図書館

1回	0校
2回	0校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	2校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

司書の派遣

1回	2校
2回	0校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

図書館見学

1回	1校
2回	0校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

3-(2)

今後望む連携内容(3つまで回答可)

団体貸出	19%
図書配送システム	22%
移動図書館	14%
担当者連絡会	6%
連携学習会	11%
司書の派遣	33%
図書館見学	14%
★ その他	11%
無回答	0%
無効回答	19%

★ その他(抜粋)

・図書室を作るスペースがないので、公立図書館と何らかの形で連携できればと思っています。

公立支援学校

4 学校での読書活動について

4-1)

授業で学校図書館を活用する
1クラスあたりの時間数(月平均)

0~3h	78%
4h~8h	6%
9h~12h	0%
12h以上	0%
無回答	6%
無効回答	11%

4-2)

学校図書館を活用した授業の
年間計画について

作成している	11%
作成していない	83%
無回答	0%
無効回答	6%

5 読書活動に関わるボランティアについて

5-1)

教室等で「絵本の読み聞かせ」等を行う
ボランティアについて

いる	25%
いない	75%
無回答	0%
無効回答	0%

◆府立学校

教室等で「絵本の読み聞かせ」等を行う
ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

保護者等PTAの方々	0%
地域の読書グループ	14%
連携先の大学生	14%
その他	57%
無回答	0%
無効回答	14%

★

★ その他(抜粋)

- ・地域のボランティア団体
- ・ボランティアサークル
- ・学校支援ボランティア
- ・保護者の知人等

●読書活動に関わるボランティア
ごとの年間実施日数

地域の読書グループ

1回	0校
2回	1校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

連携先の大学生

1回	0校
2回	1校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	0校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校
無回答	1校

◆市立学校

教室等で「絵本の読み聞かせ」等を行う
ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

学校支援ボランティア	0校
保護者等PTAの方々	0校
地域の読書グループ	2校
その他	0校
無回答	0校
無効回答	0校

●読書活動に関わるボランティアごとの
年間実施日数

地域の読書グループ

1回	1校
2回	0校
3回	0校
4回か5回	0校
6回以上10回以下	1校
11回以上20回以下	0校
21回以上50回以下	0校
51回以上	0校

5-2)

学校図書館の運営に協力する
ボランティアについて

いる	19%
いない	72%
無回答	0%
無効回答	8%

◆府立学校

学校図書館の運営に協力する
ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

保護者等PTAの方々	67%
地域の読書グループ	33%
連携先の大学生	17%
その他	0%
無回答	0%
無効回答	33%

◆市立学校

学校図書館の運営に協力する
ボランティアはどのような人か
(複数回答可)

学校支援ボランティア	0校
保護者等PTAの方々	0校
地域の読書グループ	0校
その他	1校
無回答	0校
無効回答	0校

②活動内容

図書館の環境整備	57%
貸出・返却整備	29%
本の展示	14%
本の受入と配備	0%
読書相談の対応	0%
読み聞かせ	29%
ブックトーク	0%
図書館便りの発行	0%
その他	0%
無回答	0%
無効回答	29%

自由記述(抜粋)

2-(5)学校図書館担当職員の配置による効果と課題

・ほぼ専任(週1回のみ授業のため閉館できない)の形で校内人事で配置し、学習効果が上がっていると考える。また点字用具の管理も大変なので役立っている。

3-(3)公立図書館との連携による効果と連携を進めるための課題

・児童・生徒がいつもと違う環境、状況で本を借りることに楽しさを覚え、貸出し数が増える。
 ・読み聞かせ等してもらえれば図書(絵本)に親しむ機会が増えると思います。このような機会がないので教員が本の選び方、読み方等研修することができればと思います。
 ・おはなし会や読み聞かせを通して地域との関わりを広げていけると思うが専任の図書担当がいなかった企画、運営、推進等が難しいのが現状です。
 ・肢体不自由を有する児童・生徒が必要としている支援・理解が必要である。

4-(2)学校図書館を活用した授業の年間計画を作成していない理由

・児童・生徒の障がいの状態も様々なため、個々の教員が担当の子どもの実態に応じて図書を授業に活用しているのが現状である。
 ・各教科内の調べ学習としての利用が多く、年間計画などに組み込まれていないため。

4-(3)「朝の読書」など一斉読書以外の特色ある取組み及びその効果

・マルチメディア・デジター図書やパソコンに絵本を取り込んで活用している。(障がいに適用する機器を活用して読書活動が楽しめるように支援している)
 ・ボランティア団体の方に紙芝居の読み聞かせ、図書室の飾りつけを依頼している。生徒の評判は良い。
 ・図書室開放のある日(月・水)は全校放送を入れ、呼びかけることで利用が促進されている。

4-(4)生徒の図書委員会などの活動内容

・集会でのおすすめ本の紹介、図書館便りの作成、図書館の清掃、本の整理、図書購入に際しての生徒へのアンケート、高等部の生徒により貸出し業務・図書整理を行っている、高等部のおはなし隊が小・中学部でおはなしをする。

5-(3)読書活動に関わるボランティアがいることの効果と連携を進めるうえでの課題

・地域の方に本校生徒のことを知ってもらうのよい機会となった。
 ・壁面飾りなどつくってもらい、環境もよくなり、生徒との交流ともなった。
 ・校務分掌(図書)の教師とボランティアとが、図書室の運営及び実務に関して密に連絡をとり合うこと、そのためには、コーディネーターからきめ細やかに動くことが大事である。
 ・ボランティアの方に来ていただければ、教員の負担も軽くなりいいのでは。課題は部外者を校内に入れることでしょうか。信頼関係を築くことが大切だと感じます。
 ・読み聞かせに精通しているので、知的発達レベルに違いのある人たちにも、うまく対応されていて、我々教員にも参考になる。

6 お尋ねした項目以外に特色ある取組み及びその効果

・年1回小学部、中学部、高等部に分かれて「おはなし会」を行っています。毎年行っていますので静かに聞く態度が育ってきています。(人材バンク利用)
 ・年度末にたくさん本を読んだ人を「読書の鉄人」と称し、表彰しています。鉄人をめざして図書館を利用する児童・生徒も多いです。
 ・教職員に購入希望図書の記入用紙を配布し、児童・生徒に合いそうな本を選んでもらっている。同様のものを図書室前にも提示し、生徒にも自分たちが読みたい本を考えて選べるようにしている。
 ・肢体不自由児・生徒の学校であるので、図書室に行くことが難しい児童・生徒が多いため、昼休みに教室への移動読書を行っている。

7 学校図書館の運営について、困っていることや悩み

・図書室を開放している昼休みに様子を見に行きたいと思っているが、児童・生徒の介助連絡帳の記入等で行くことができない。放課後、本の整理をすることで、どのような本を読んでいるかわかるぐらいで選書支援等できない状態である。
 ・学校図書館を運用する分掌がないため、独立した組織(分掌や委員会)の必要性を感じる(図書の購入は教務部教科書・図書係が行っている)。